



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2019年11月13日

報道関係者各位

～進化し続ける水辺の環境保全プロジェクト～

「北海道e-水（イーミズ）プロジェクト」

第10回 北海道e-水フォーラム開催

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木康行)は、2019年11月21日(木)、「第10回 北海道e-水フォーラム」を下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。

「北海道e-水プロジェクト」は、2009年11月、北海道と当社との間で締結した「環境保全に関するパートナーシップ協定」に基づき、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り次世代へと引き継いでいくことを目的とし、北海道、公益財団法人北海道環境財団、当社の三者協働で取り組むプロジェクトです。

当社が販売する「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインの売上の一部を(公財)北海道環境財団に寄付し、道内各地域で水辺の環境保全活動に取り組む団体および流域ネットワークの活動を支援するもので、2019年で10年目を迎えました。

当フォーラムでは本年度の寄付金7,402,343円(累計寄付額124,953,715円)贈呈式をはじめ、本年度採択された活動団体(10団体)の年間活動報告、新しい「北海道e-水プロジェクト」の発表、有識者による特別講演が行われます。



北海道e-水プロジェクト

【第10回 北海道e-水フォーラム 概要】

日時	2019年11月21日(木) 17:00～20:45
場所	札幌市民交流プラザ3階 クリエイティブスタジオ 札幌市中央区北1条西1丁目
申込み先	公益財団法人 北海道環境財団 電話：011-218-7811
定員	180名(参加費無料)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付金贈呈式 ・活動団体発表(10団体) ※各団体の詳細については別紙参照 ・新しい「北海道e-水プロジェクト」についての発表 ・特別講演「海洋プラスチック汚染の現状と将来の展望」 磯辺 篤彦(いそべ あつひこ) 氏 九州大学 応用力学研究所教授・博士(理学) ・パネルディスカッション 「北海道e-水プロジェクト～ 次のステージをデザインする」 酪農学園大学教授吉田磨氏ほか、登壇者4名によるディスカッション
主催	北海道、公益財団法人北海道環境財団、北海道コカ・コーラボトリング株式会社
備考	来場者に「ジョージアサントスプレミアム」&「いろはす 天然水」555mlPETをプレゼント

～北海道の環境を守る あなたの1本～



・2019年11月より「北海道e-水プロジェクト」は、対象製品が北海道の天然水「いろはす天然水」555mlPETとなり、北海道の水環境を守るため、進化し続けてまいります

・これまでの「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインによる、北海道の水辺の環境保全に向けた寄付は、2016年に累計1億円を突破、2019年分を含めると、年間で延べ101団体を支援、寄付金額も124,953,715円となり、e-水の活動やネットワークは北海道全域に拡大しています。

※北海道e-水プロジェクトの前身となる、北海道との「環境保護活動の推進に関する協定」に基づく寄付を含めた累計寄付額(2008年～2019年)

■ 別紙1 2019年度 北海道 e-水プロジェクト 支援団体（敬称略）

	団体名/事業名	活動地域	事業概要
①	阿寒湖のマリモ保全推進委員会 阿寒湖チュウレイ湾でのマリモ総個体数一斉調査プロジェクト	阿寒湖	阿寒湖チュウレイ湾の100地点に登る調査地点にあるマリモをすべて引き上げ、大きさ・重量などを計測する。 そのためのボランティア募集や活動にかかる備品等も申請。
②	網走川流域の会 小さなごみも見逃さない！マイクロプラスチックを探せ！！	網走川流域	マイクロプラスチック問題の普及啓発、網走川流域（網走市、津別町、美幌町、大空町）での調査、漂着物展示を通じた啓発、流域一斉のごみ拾い
③	石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク 石狩川流域湿地環境啓発事業	石狩川中下流域 (空知・石狩)	1) 未保全湿地の継続調査とリスト化、探索会の開催、2) 普及啓蒙のための映像・資料作り、3) 湿原植物活用WSの開催、4) 湿地カフェ開催 ※「篠路福移湿地」「美唄湿原」の保全を進めるため2)を最優先で実施
④	大沼ラムサル協議会 Wise useを意識した地域づくりProject	大沼	流入河川を含めた湖水調査と外来種の調査を通じて大沼の現状の把握を行う。また、大沼地域の将来ビジョンを話し合う場を設定し、ワークショップにより議論を行う。大沼研究発表会で成果を発表する（期間外）。
⑤	釧路自然保護協会 ヒブナ産卵地保護を目的とした、効果的なウチダザリガニ駆除方法の開発	釧路市春採湖岸北東部	ヒブナの産卵水草保護を目的に、ウチダザリガニ侵入防護壁の有無や駆除強度の強弱によって、個体数がどのように変化するか調査を行う。実験区内でウチダザリガニを絶滅できれば、水草の回復が期待できる。
⑥	一般社団法人ちせ 沿岸漂着物に関する住民参加型調査と漂着物トランクセット開発	石狩市（石狩湾海岸地域）、 札幌市内	沿岸の自然整形保全の理解と海洋マイクロプラスチック問題を念頭においた海岸漂着物の調査を行う。また、啓発のための海岸漂着物トランクセットの作成や啓発パンフレットの作成なども行う。
⑦	道東のイトウを守る会 手作り魚道による釧路湿原のイトウ個体群の復元2019	釧路川流域	釧路川水系における遡上障害の落差工（No.7）に手作り魚道を設置し、イトウ個体群の復元を図る
⑧	NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト 環境共生型污水处理システムの実践研究と普及活動	余市郡余市町	環境負荷の少ない汚水浄化システムを目指し、植物浄化水路を制作する。特に窒素・リンを除去する。環境教育の場としても活かしワークショップで行う。
⑨	北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ グローバルアクションプロジェクト 常呂川水系を大切にプロジェクト — おいしい保全 ザリガニウォッチング in 仁頃川 —	常呂川水系流域 (北見市)	高校生が小学生を対象にウチダザリガニの防除活動と調理を行う。また、常呂川でごみの収集を行い、発生抑制に向けたパンフレット等を作成し、啓発を行う。
⑩	ヤツメウナギ研究会 北見幌別川水系及びその流域における河川資源の保護・増殖事業及び環境保全に関する啓蒙活動 (Reborn THE ヤツメ)	枝幸町歌登地区市街地 2級河川北見幌別川と2級河川ベンケナイ川及びその支流を含む流域	歌登の川をフィールドに希少種となったカワヤツメの捕獲・受精、放流を行う。同時に外来種調査も行う。子どもたちを対象に「川の生きもの」「水辺の鳥」の観察会を行う。その他、河川の清掃活動や講演会なども行う。

- ・対象となる団体：道内の水辺における環境保全事業を行う非営利の団体または流域ネットワーク
- ・対象となる事業：道内の水辺（川、海、湖沼など）において環境保全活動を行う非営利の団体（または流域ネットワーク）が行う事業。

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR 推進部

担当：千葉 TEL 011-888-2091

■ 参考1 北海道e-水（イミズ）プロジェクトとは

- 北海道には豊かな水資源とそれを取り巻く美しい自然があります。この北海道の恵まれた水とそれを含む自然環境を道民全体で保全し、未来に引き継いでいくため、道民、事業者、行政の協働のもとで地域における水辺の環境保全活動に取り組む事業が「北海道e-水プロジェクト」です。
- エコロジーをイメージする「e」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、「北海道e-水（イミズ）プロジェクト」と名付けました。
- 2010年から始まったこの「北海道e-水プロジェクト」はこれまで10年間で延べ101の団体を支援、活動の輪は全道一円に拡大しています。
- そして、2019年11月より「北海道e-水プロジェクト」は、北海道の水環境を守る活動を継続し、更に拡大するため、新しく生まれ変わります。

■ 参考2 寄附金額の推移

2008～2018年 寄付額実績	117,551,372円
2019年 今回寄付額	7,402,343円

寄附額累計 124,953,715円 内) 北海道e-水プロジェクト 100,575,520円

※北海道e-水プロジェクトの前身となる、北海道との「環境保護活動の推進に関する協定」に基づく寄付を含めた累計寄付額（2008年～2019年）

■ 参考3 第19回 日本水大賞「審査部会特別賞」受賞（2017年7月）

- 日本水大賞は日本水大賞委員会（名誉総裁 秋篠宮殿下、委員長 毛利 衛）と国土交通省が主催となり、水環境の健全化に向けた諸活動を広く顕彰し活動を広く支援するために、1998年6月に創設された賞で、水環境におけるすべての団体、個人の研究活動を対象とした国内唯一の賞。

『当社の受賞理由』

北海道は、大小さまざまな河川や湖沼が存在し、全国の湿地の約86%が集中し、積雪の多さなどから世界的に見ても貴重な水の大地といえます。この水の大地を、健全な形で次世代に引き継いでいくことが重要です。

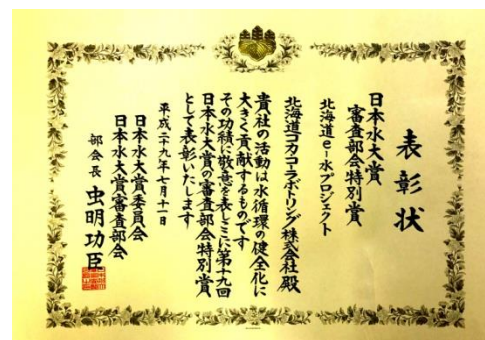
北海道コカ・コーラボトリング（株）は、地域限定商品の売り上げの一部を使い、北海道、北海道環境財団の三者協働事業として、北海道e-水プロジェクトを実施しています。

このプロジェクトは、水環境保全を目的としたフォーラムを開催したり、水生外来種駆除など環境保全活動を支援したりしています。企業が、社会的役割を認識して消費者と水循環健全化活動を結び付けていること、企業と行政と団体と協働することで実効性が高いことは特筆に値します。こうした企業活動がさらに盛んになることを願い、審査部会特別賞にふさわしいと判断しました。

（※国土交通省発表「日本水大賞」報道発表資料 別添より引用）

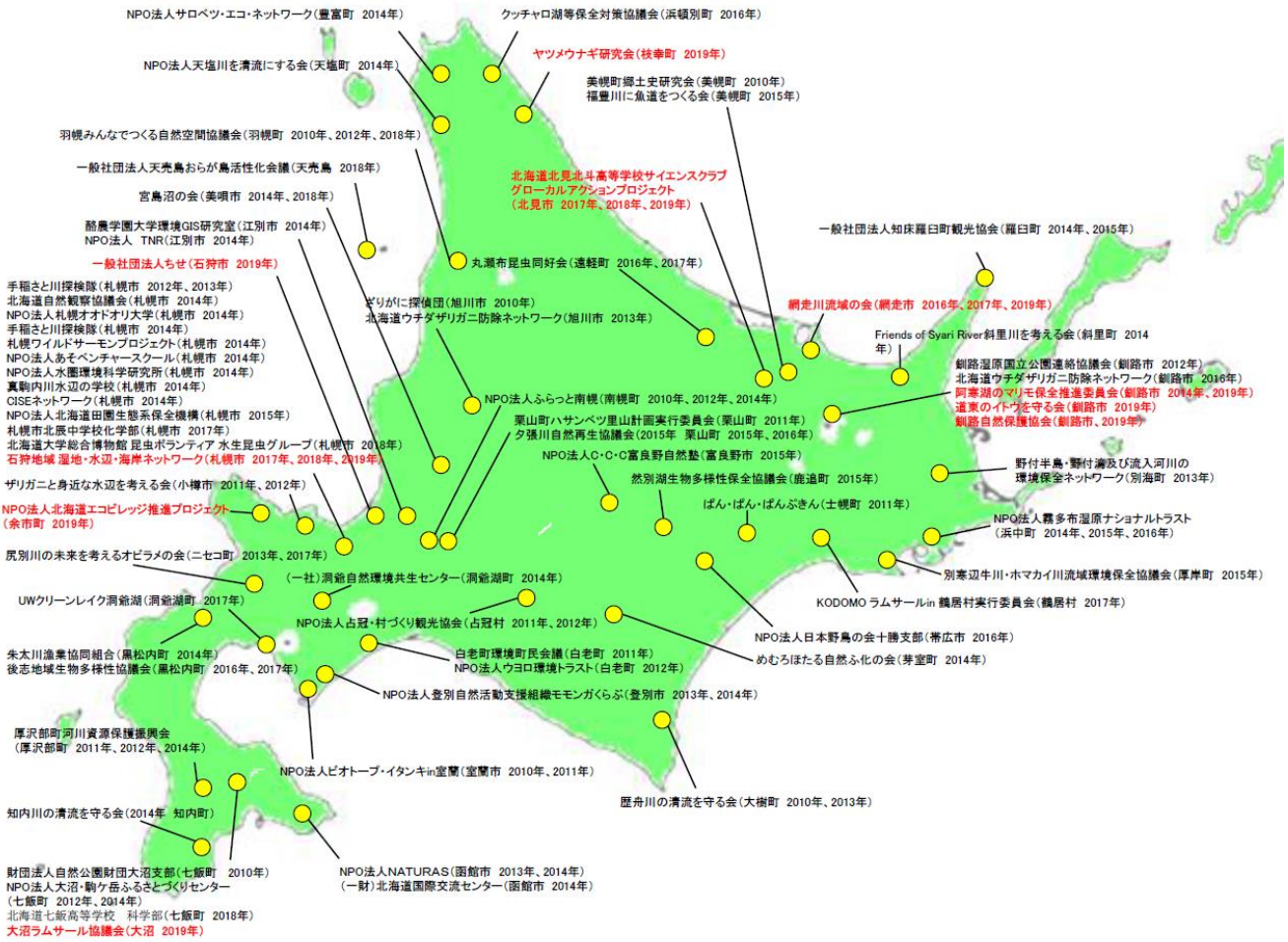


第19回 日本水大賞授賞式



日本水大賞 審査部会特別賞

【北海道e-水プロジェクト歴代活動団体一覧】



(延べ 101 団体、赤字は 2019 年度採択団体)



北海道e-水プロジェクトは、10周年。
 今後も、北海道の水環境を守るため、
 進化し続けてまいります。
 今回の特別講演は、世界的な問題となっている
 「海洋プラスチックごみ問題」がテーマです。
 ぜひご参加ください！

th

第10回 北海道e-水フォーラム

2019.11.21(木) 17:00-20:45 [16:30開場]

会場 札幌市民交流プラザ3階 クリエイティブスタジオ 札幌市中央区北1条西1丁目 ※例年と会場が異なりますのでご注意ください。※地図は裏面を参照してください。

参加費 無料(定員180名) ※要事前申し込み・先着順

2019年活動団体発表 (五十音順)

- 阿寒湖のマリモ保全推進委員会(釧路市阿寒町)
- 網走川流域の会(網走市)
- 石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク(札幌市)
- 大沼ラムサール協議会(七飯町)
- 釧路自然保護協会(釧路市)
- 一般社団法人ちせ(札幌市)
- 道東のイトウを守る会(釧路市)
- 特定非営利活動法人
北海道エコビレッジ推進プロジェクト(余市町)
- 北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ
グローバルアクションプロジェクト(北見市)
- ヤツメウナギ研究会(枝幸町歌登)

パネルディスカッション

「北海道e-水プロジェクト～次のステージをデザインする」
 ※登壇者のお名前・プロフィールは裏面をご覧ください。

特別講演

「海洋プラスチック汚染の現状と将来の展望」



講師：
磯辺 篤彦氏(いそべ あつひこ)
 九州大学 応用力学研究所教授・博士(理学)

■プロフィール
 2008年愛媛大学沿岸環境科学研究センター教授、2014年より現職。環境省海洋プラスチックごみ研究プロジェクト・プロジェクトリーダー、JICA/JST 東南アジア海域における海洋プラスチック汚染研究のプロジェクトリーダー等を務める。マイクロプラスチック研究で、2018年環境大臣賞環境保全功労者表彰、2019年内閣総理大臣賞海洋立国功労者表彰。

参加プレゼント

ご参加いただいた方に「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザイン＆「い・ろ・は・す天然水」555mlペットボトルを1本ずつプレゼントします！

※2019年11月より「い・ろ・は・す天然水」555mlペットボトルの売上の一部は、「北海道e-水プロジェクト」の活動資金として活用されます。



お申込み・お問合せ

公益財団法人北海道環境財団 北海道e-水プロジェクト事務局までお申込みフォーム、お電話、FAXのいずれかでお申込みください。TEL 011-218-7811 FAX 011-218-7812

※可能な限り、右記のお申込みフォームをご利用ください。※FAXでお申込みの方は、裏面の申込書にご記載の上お送りください。
 ※いただいた個人情報は、本フォーラムの連絡以外には使用いたしません。

主催：北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団



お申込みフォーム



北海道e-水プロジェクトは、北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団の協働事業として、北海道の水環境保全活動に取り組んでいます。

北海道e-水プロジェクト